

放射線技術部だより

白十字病院 放射線技術部 広報誌



本号の記事：

- 1ページ：マンモグラフィ検診施設画像認定について
- 2ページ：マンモグラフィ検診について
- 3ページ：プレスト・アウェアネスについて

マンモグラフィ 検診施設 画像認定の更新



当院は、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が主催する「マンモグラフィ検診施設画像認定」を取得しています。3年毎に認定の更新が必要ですが、2025年7月、認定の更新をすることができました。

本号では、マンモグラフィ検診施設画像認定や、当院でのマンモグラフィ検査などについてご紹介いたします。

マンモグラフィ検診施設画像認定 について

マンモグラフィ検診施設画像認定とは、NPO法人 日本乳がん検診精度管理中央機構が、マンモグラフィ検診の精度を高め、それを維持するために、撮影装置や実際に撮影した画像、撮影に要したX線の線量などを評価し、検診に必要とされる基準を全て満たした施設を認定施設とするものです。

つまり、高精度の検診を提供できると認められた施設にのみ与えられます。



白十字病院も認定施設です！

マンモグラフィ検診施設画像認定は3年ごとに認定の更新が必要です。

白十字病院では2025年度の7月、認定の更新が完了しました。

認定取得後も、講習会や研修会などに積極的に参加し、検査の精度と質の向上に努めています。

また、当院は「**精密検査実施機関**」でもあり、検診の結果で必要となればマンモグラフィの追加撮影、エコー検査、組織診、MRI検査等も受けることができます。



認定技師

当院には、検診マンモグラフィの認定を取得している

- ・読影医師
 - ・撮影診療放射線技師
 - ・超音波検査実施技師
- が在籍しています。



カンファレンス

週に一度、乳腺外科医、放射線科医、放射線技師、臨床検査技師で画像カンファレンスを行っています。



当院でのマンモグラフィ乳がん検診の流れ

受付、問診票のご記入後、乳腺センターにお越しいただきます。

上半身の検査着への更衣を案内いたします。
(ワンピースの方へはズボンタイプの検査着もご用意しております。)



待合室の様子

マンモグラフィ用の前開きの検査着(下画像)に更衣していただき、撮影を行います。
所要時間は約10分程度です。



「思ったよりも痛くなかった。」とおっしゃる患者さんは多いです。
過度な圧迫は行いませんので、痛むときは遠慮なくお伝えください。

マンモグラフィ撮影装置は、FUJIFILMのAMULET Innovalityを導入しています。
低線量と高画質を両立した最新装置です！



自費でエコー検査を追加された方はエコー検査を受けられます。
更衣、会計をしていただき終了です。



ブレスト・アウェアネス をご存知ですか？

ブレスト・アウェアネスは、**乳房を意識する生活習慣**のことです。

異常を探したりしこりを見つけることに主眼が置かれる「自己触診」とは異なり、ブレスト・アウェアネスは、あくまで「生活習慣」として位置付けられます。

日頃から**自分の乳房を意識し、その状態を知っておく**ことで、はじめて異常の出現に気が付けるのです。

まず自分の乳房の状態を知ることから始めましょう！

ブレスト・アウェアネスの4つのアクションをご紹介します。



#4つのアクション

1. 自分の乳房の状態を知る

入浴やシャワーの時、着替えの時など、ちょっとした機会に自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。



2. 乳房の変化に気をつける

普段の自分の乳房の状態を知ることによって、初めて変化に気が付けます。

変化として注意するポイントは

- ✓ 乳房のしこり
 - ✓ 乳房の皮膚のくぼみや引きつれ
 - ✓ 乳頭からの分泌物
 - ✓ 乳頭や乳輪のびらん
- などです。

3. 変化に気付いたらすぐ医師に相談する

変化に気付いたら、病院やクリニックなどを受診しましょう。

大丈夫だと安易に自己判断することなく専門医の診察を受けましょう。



4. 40歳になったら、 2年に1回乳がん検診を受ける

乳がん検診の目的は、乳がんで亡くなる女性を減らすことです。現在、「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な乳がん検診は**マンモグラフィのみ**です。乳がんにかかる年代は40~60代がピークですので、40歳以上の女性には2年に1回の乳がん検診が推奨されています。

